

野木村 政三

## 随想・デンマークからドイツへ（2/2）

デンマークのコペンハーゲンに2泊しました。それからドイツのミュンヘンに向かいました。

ミュンヘン空港からバスに乗りました。バスの中から見た沿道の光景に驚きました。

真昼間から大きなジョッキを手にした群衆が、酒盛りの真最中でした。

そして私たち一行も、このビヤホールの中に案内されたのです。ドイツはビール天国、バイエルン州のミュンヘン・ビールは格別に旨いな、と思いながら私もジョッキを空にしました。

ミュンヘンでは、オクトーバーフェストという大ビール祭りがあります。今日はそれが終わった後、ということでした。

案内されたビヤホールも3000人を収容できる大型です。ガラスのビールジョッキも特大です。工場から出来立てのビールが運ばれてきます。アルコール分が少ないようなので、何杯でも飲めます。

酔うほどに皆が立ち上がり、前の人の上に両手を載せて列をつくりまします。プラスチックバンドのリズムに合わせて、「ワッシュョイ、ワッシュョイ」と場内を練り歩きました。バンドが休憩する間に皆が、また、ビールを飲みます。そしてバンドが始まると大衆は隊伍を組み、また「ワッシュョイ」を始めます。一生、忘れられない思い出のビヤホールになりました。

このビヤホールの名は、ホーフプロイハウスと云います。宮廷ビール醸造所の跡地だそうです。ここで、ドイツを無残な敗戦国家に導いた「ナチスのヒトラー総統」が演説を行っていた話が有名です。ナチスの前身ドイツ労働者党の最初の大集合も此処で開かれた、と聞きました。

ドイツでは、ビヤホールが政治集会にも使われています。二階建て、三階建ての建物に、プロイ、ハウス、ケラーなどの看板がかかり、大ホールが政治集会に、地下のケラー（小部屋）が小会合に使われていました。

翌日、ノイシュブアンシタイン城に登りました。登城の途中、昨夜、ビヤホールで肩を組んだイタリアの人たちに出逢いました。彼らに



「この坂道を、ワッ  
シヨイ しをながら一  
緒に登ろう」

と提案されました。

が、こちらは昨夜のはし  
ゃぎ過ぎが原因で疲れ、  
全くその気持ちになれ



ませんでした。(ノイシュブアンシタイン城に登ることが、ご当地観光ルートにな  
っているようです。ここは、スイス及びオーストリアとの国境近くです)

\*\*\*\*\*

シュトゥットガルト市は自動車工場の街です。BMW もここが本拠地です。

私たち一行は、ベンツ工場の生産工程見学予定予定でした。が都合ができて、  
メルセデス・ベンツ博物館の参観に変更になりました。

博物館2階の広いスパンに、赤いクラシックカーが陳列してありました。

【昭和天皇御料車】と、日本語の立て札の説明が添えてありました。

日本の皇室の御料車は、日英同盟以降は窓ガラスがない英国製ロールスロイス

でした。大正 12 (1923) 年 12 月、当時、摂政宮だった昭和天皇がロールロイスに乗って東京虎ノ門を通過するとき暴漢に狙撃されました。

それ以来の御用車は「メルセデス・ベンツ 770 グローサー」に変わりました。展示品の天皇御用車はその時の日本からの引き取り車なのでしょう。

シュトゥットガルト駅からフランクフルト中央駅まで、列車に乗って移動しました。駅舎も車両も立派で、沿道の景色も素晴らしく、記憶に刻まれました。

フランクフルト市の銀座街に、日本人が経営している鉄板焼きの料理がとても美味でした。しかし夕食は、ドイツ人経営の寿司屋で食べたのですが、シャリが水っぽくて不味かったです。その店は日本人の板前に金を持ち逃げされた、と、ドイツ人マスターが愚痴をこぼしていました。

フランクフルトには、世界中のそれぞれのお国レストランがある、といわれています。

フランクフルトは、ヨーロッパ金融市場の中心です。今は、ドイツ連邦銀行、欧州中央銀行の所在地でもあります。

ドイツ経済は、ドイツ銀行、ドレスナー銀行、コメルツ銀行の 3 大銀行に支配

されていて3行ともユダヤ系資本といわれています。

ユダヤ財閥ロスチャイルド家は初代がフランクフルトの古物商兼両替商から押しあがって国際金融の覇権を握った、と云われています。

第二次世界大戦（ヒトラー時代）が終結すると他国に遁れていたユダヤ系ドイツ人は、いち早く西ドイツに戻り隠然たる勢力を築きました。

フランクフルト市の中心街がゲーテ広場になっています。そこに文豪ヨハン・ゲーテの銅像があります。ゲーテハウスにゲーテ博物館もあります。ゲーテの家系が17世紀からのフランクフルトの名門だった、と解りました。

ゲーテの「若きブエルテルの悩み」「ファスト」を読んだ、というより手にした、という記憶（1949 昭和 24 年・高校 3 年の時）が私の頭をよぎりました。

\*\*\*\*\*

日本から多くの方々が、ドイツ観光旅行に行かれます。ロマンチック街道のローテンブルグ市にも行かれると思いますので私の文は略します。

（※参考1）明治10年（1877）ドイツより神戸2番館に板状のセルロイド生地が輸入された。（※参考2）明治15年（1880）大阪・乙原商店がドイツのセルロイド装飾櫛18枚を輸入し市販した。

H29/4/25

# ドイツの州

